

不妊治療保険適用についてのアンケート結果

～30代女性を主ターゲットにして～

「不妊治療保険適用専門サイトFCH」と、女性活躍を推進するサイト「RESTA plus」が協力し、不妊治療をしているのかしていないかに関わらず、30代女性を主ターゲットにする不妊治療保険適用についてのアンケートを実施しました。

これまでの各種団体等のアンケートは、不妊治療に取り組んでいる方々へのアンケートでしたが、今回は不妊治療実施者のみならず30代を中心に幅広く不妊治療への意識を聞くことが出来ました。回答数は1125人でした。

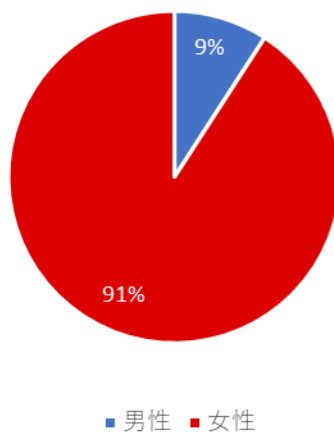
アンケート結果の特徴

- ・女性の回答が9割超(91%)で、そのうち30～34歳の回答数が361(32%)、35歳～39歳の回答数が311(27.6%)と、30代の回答数がアンケート回答全体の6割に上る。
- ・全体の回答数のうち、不妊治療をしている方が12.9%。不妊治療を現在していないと答えた方が87.1%で、本アンケートは不妊治療の有無に関わらず聞いていることから、現在不妊治療に取り組んでいる方は、30代を中心とする層において約13%と推測される。
- ・不妊治療をしている方のうち、保険を使っている方が8割(80.7%)にのぼる。
- ・保険適用で治療費負担が、「かなり安くなった」「安くなった」との回答が6割を超えた(63.5%)。
「変わらない」は26.2%。
- ・不妊治療が保険適用になったことで、配偶者やパートナーの不妊治療への理解について、
40.4%が「かなり深まった」「やや深まった」と回答しており、4割近くで理解について深まっている方向で変化が見られた。「変わらない」は59.6%。
- ・一方、不妊治療が保険適用になったことで、職場や周囲の不妊治療への理解が深まったかについては、70%が「変わらない」と答えており、理解促進に課題が見られることが分かった。
- ・不妊治療をしていない方に不妊治療についてどの程度知っているか聞いたところ、「ほとんど知らない」「あまり知らない」が6割(60.4%)で、不妊治療とは何か?の啓発の必要性を示した。
- ・不妊治療が保険適用になって「良かった」が76.1%と、4分の3以上が好意的に受け止める。

アンケート詳細

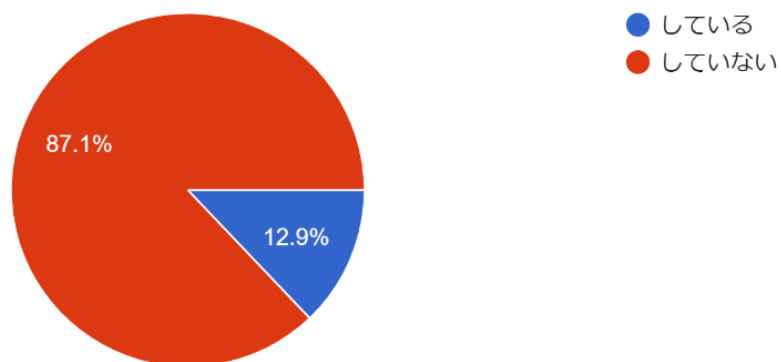
※回答数は 1125

Q1 性別を教えてください



Q2 あなたは今、不妊治療をしていますか？

1,125 件の回答



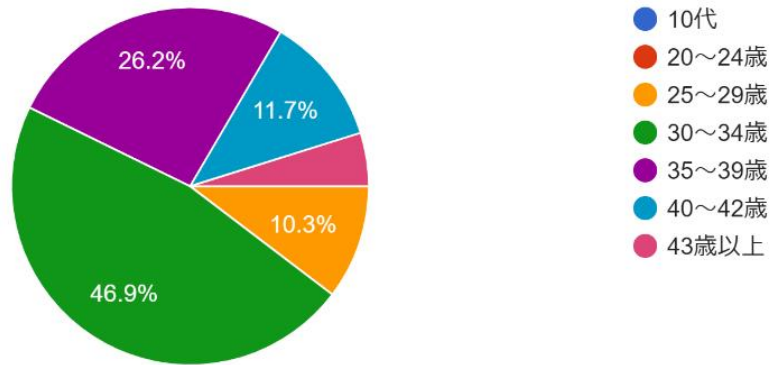
※以下、回答により

- ・不妊治療をしている方への質問
 - ・不妊治療をしていない方への質問
- と分かります。

以下、不妊治療をしている方への質問

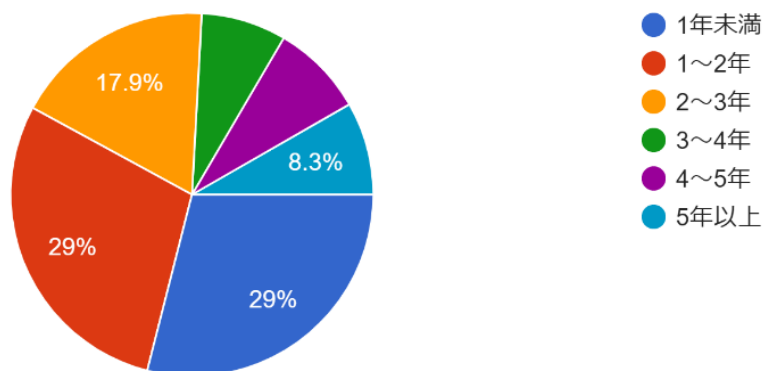
Q3：年齢を教えてください。

145件の回答



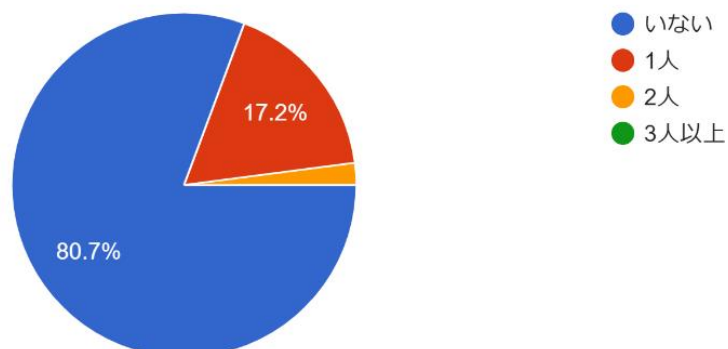
Q4：不妊治療に取り組んで、何年になりますか？（タイミング療法や人工授精も含む）

145件の回答



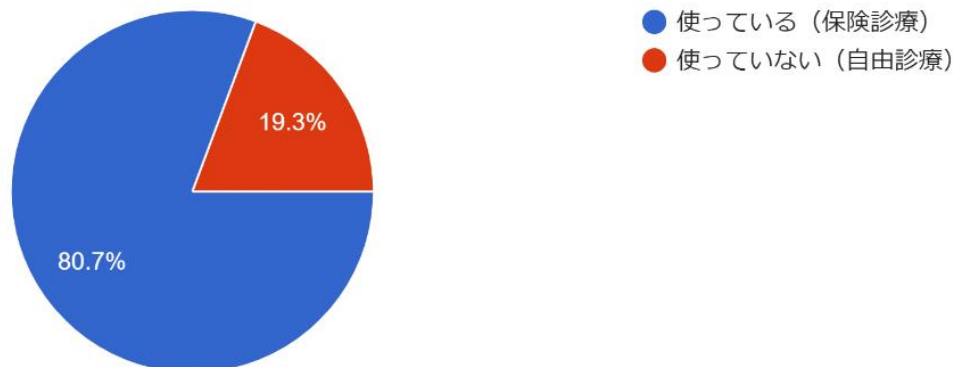
Q5：お子さんはいますか？

145件の回答



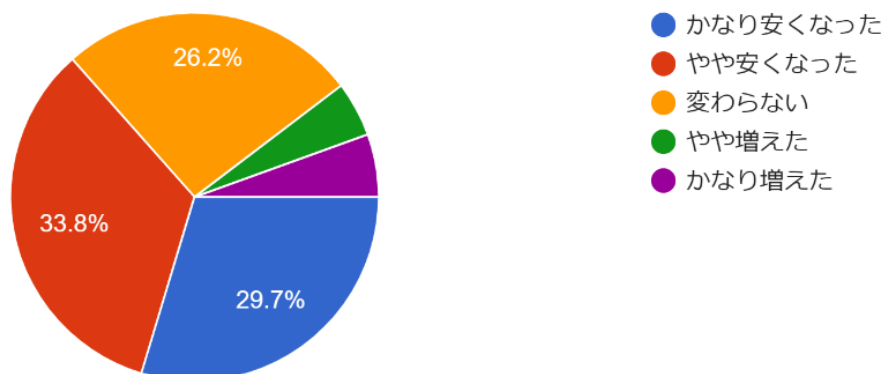
Q6：不妊治療において保険診療を使っていますか？

145 件の回答



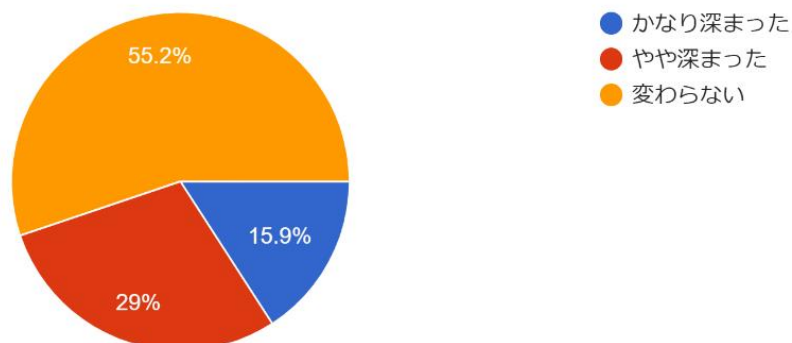
Q7：不妊治療が2022年4月から保険適用になり、治療費負担はどうなりましたか？

145 件の回答

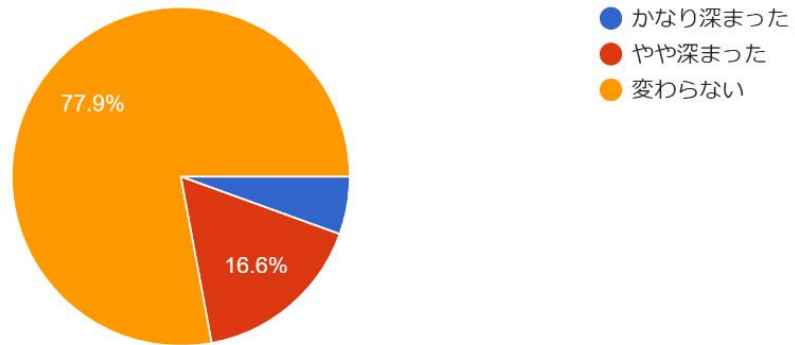


Q8：不妊治療が保険適用になったことで、配偶者 やパートナーの理解は深まりましたか？

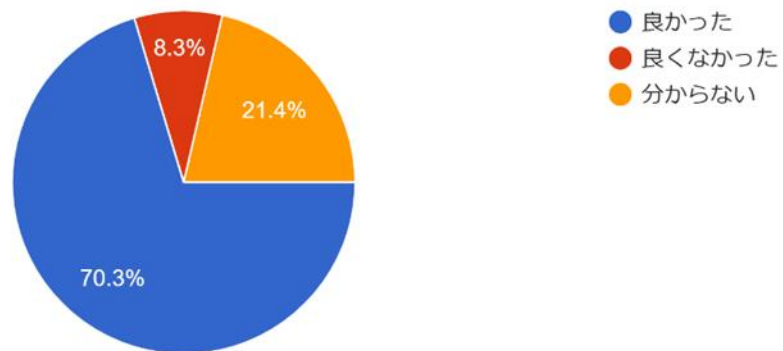
145 件の回答



Q9：不妊治療が保険適用になったことで、職場や周囲の不妊治療への理解は深まったと感じますか？
145 件の回答



Q10：不妊治療が保険適用になって良かったと感じますか？
145 件の回答

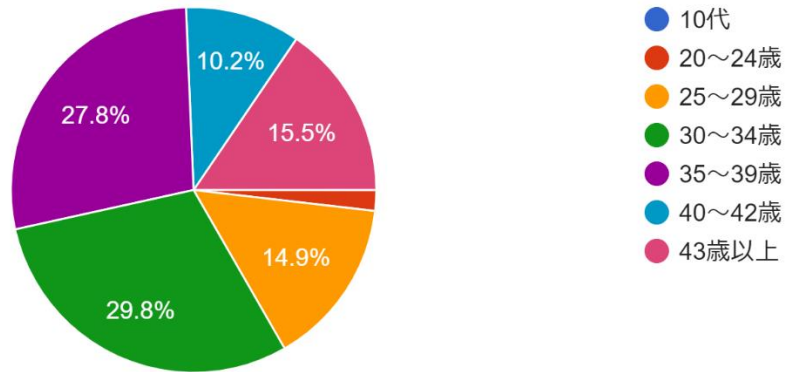


Q11 として自由回答あり ※巻末、自由回答①へ

以下、不妊治療をしていない方への質問

Q3：年齢を教えてください。

982 件の回答



Q4：不妊治療の経験について教えてください

982 件の回答



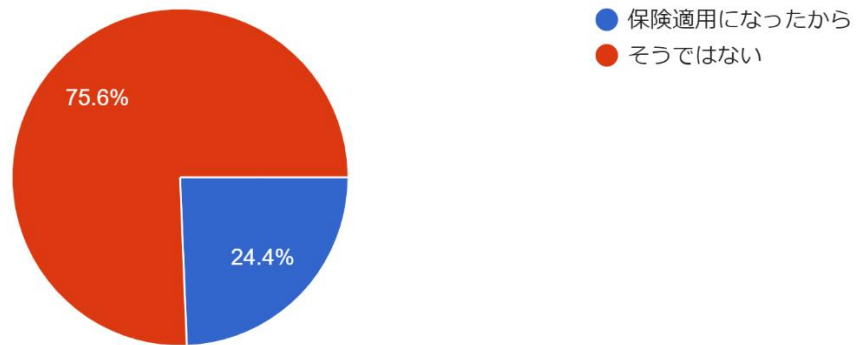
※以下、回答により

- ・これから取り組む、再び取り組もうと思った方への質問
- ・過去にしている、やめた方への質問
- ・不妊治療はしたことがない方への質問

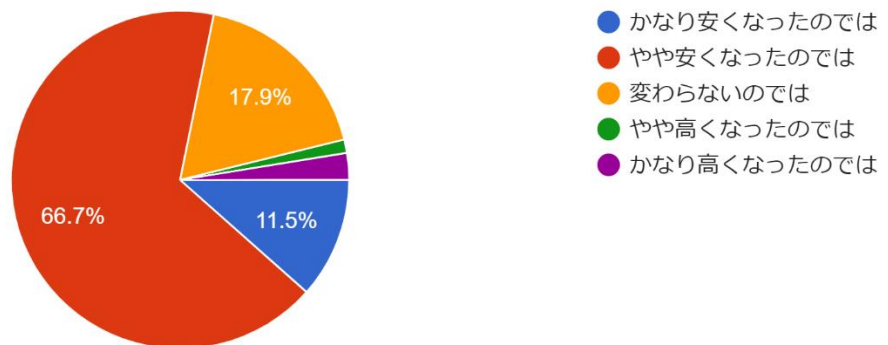
に分かれます。

以下、これから取り組む、再び取り組もうと思った方への質問

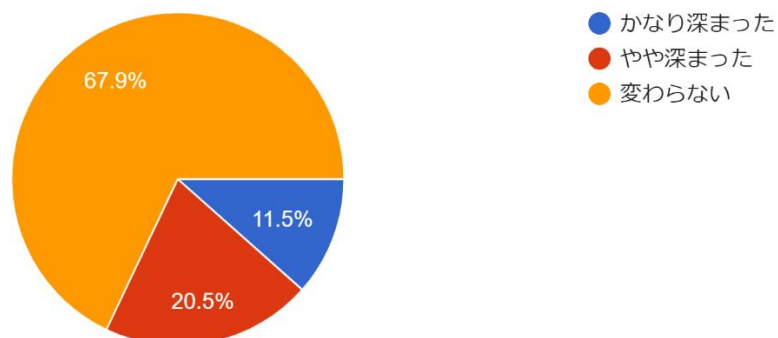
Q5：これから取り組む、再び取り組もうと思った...不妊治療が保険適用になったことが理由ですか？
78 件の回答



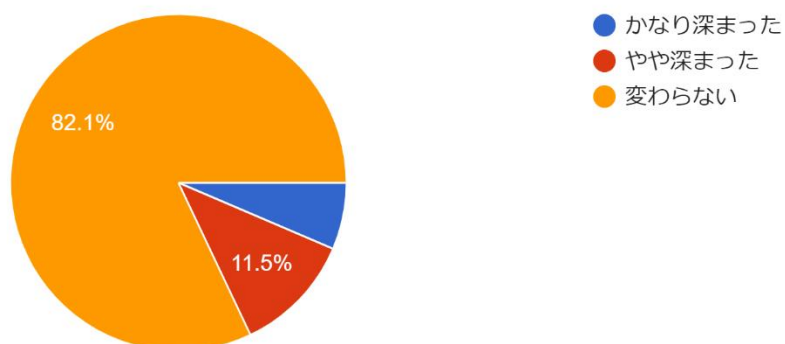
Q6：不妊治療が保険適用になったことで、治療費負担は以前に比べてどうなったと感じますか？
78 件の回答



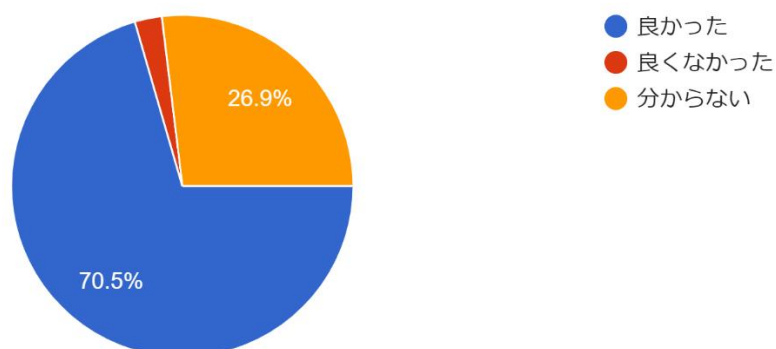
Q7：不妊治療が保険適用になったことで、配偶者 やパートナーの理解は深まりましたか？
78 件の回答



Q8：不妊治療が保険適用になったことで、職場や周囲の不妊治療への理解は深まったと感じますか？
78件の回答



Q9：不妊治療が保険適用になって良かったと感じますか？
78件の回答



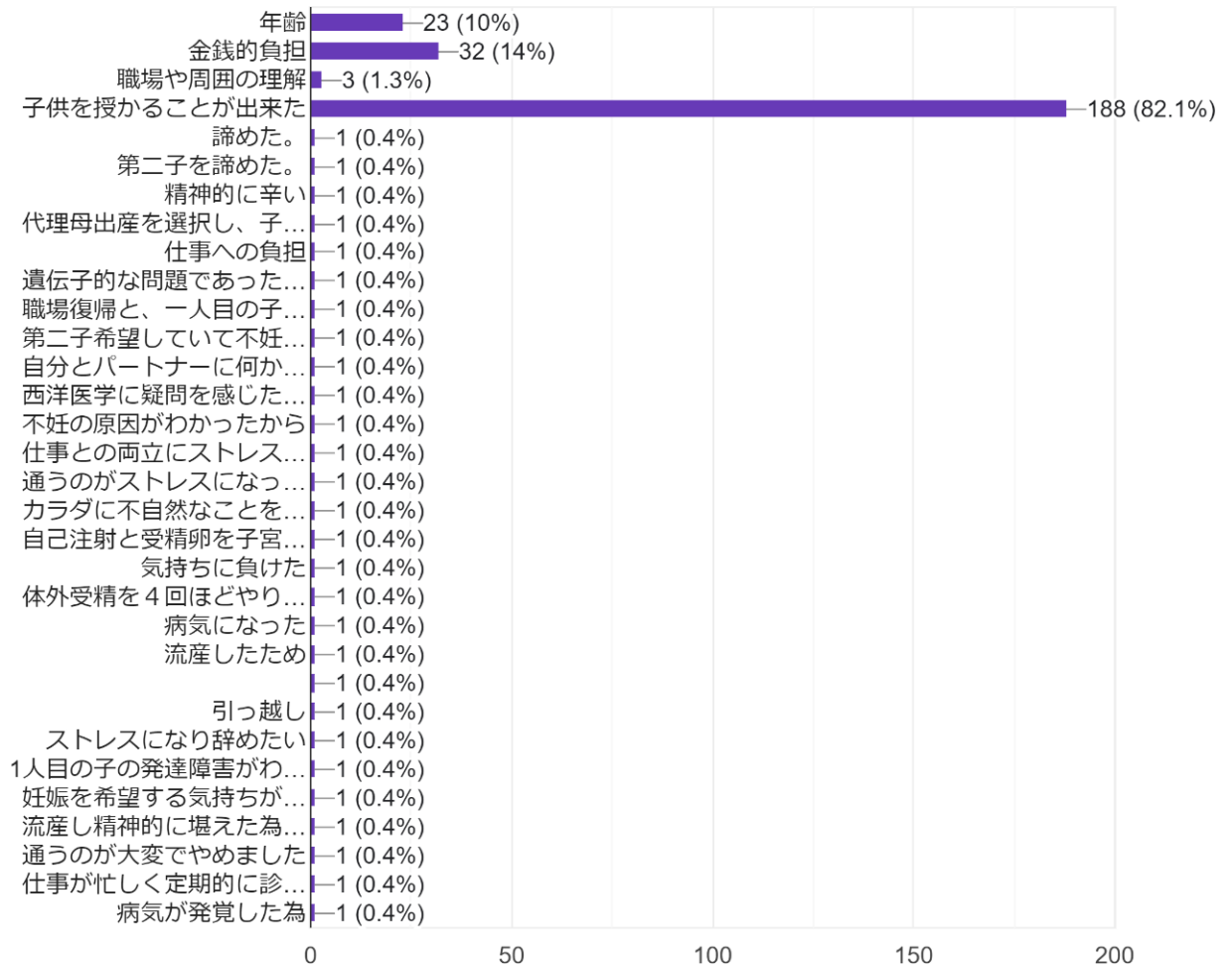
Q10として自由回答あり ※巻末、自由回答②へ

以下、不妊治療を過去にしている、やめた方への質問

Q5：不妊治療をやめた理由は何ですか？

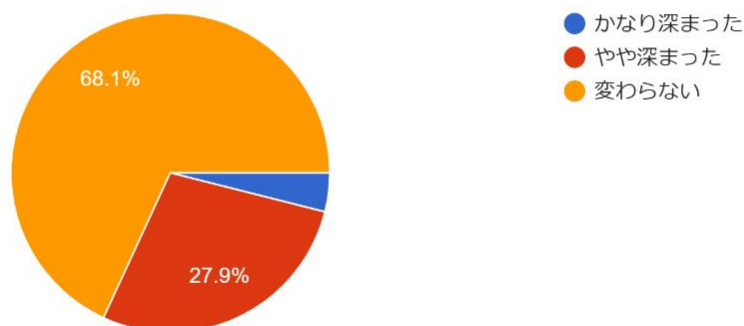
(複数回答可)

229 件の回答



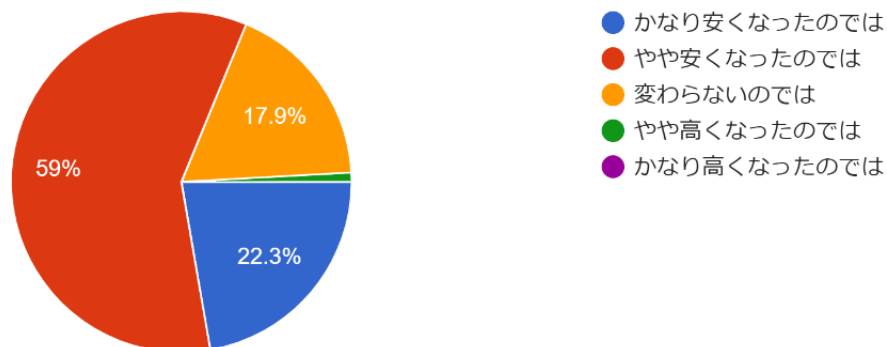
Q6：不妊治療が保険適用になったことで、職場や周囲の不妊治療への理解は深まったと感じますか？

229 件の回答



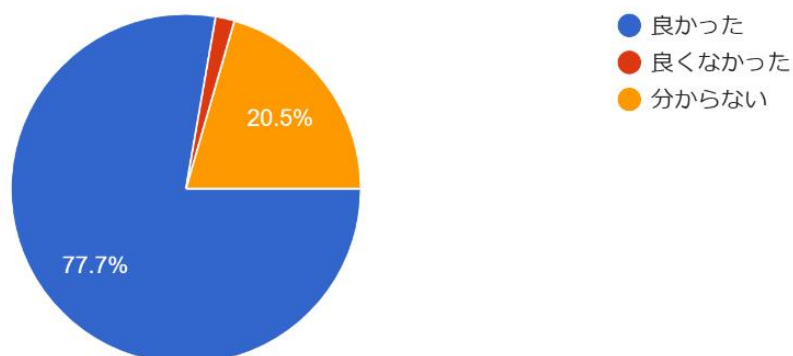
Q7：不妊治療が保険適用になったことで、治療費負担は以前に比べどうなったと感じますか？

229 件の回答



Q8：不妊治療が保険適用になって良かったと感じますか？

229 件の回答



Q9：特別養子縁組や普通養子縁組をしたり、里親になったりしていますか？

229 件の回答

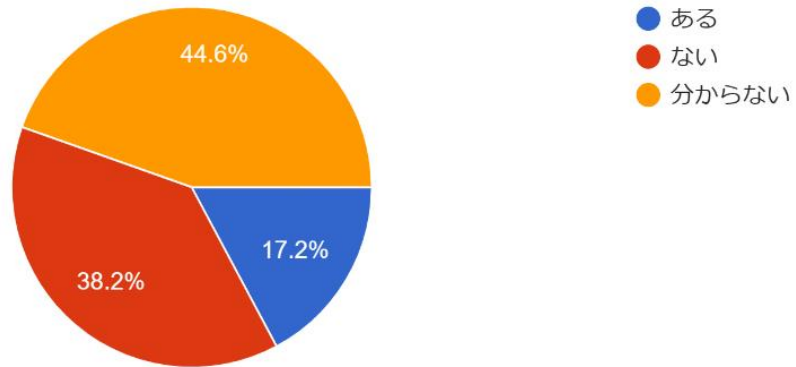


Q10 として自由回答あり ※巻末、自由回答③へ

以下、不妊治療をしたことがない方への質問

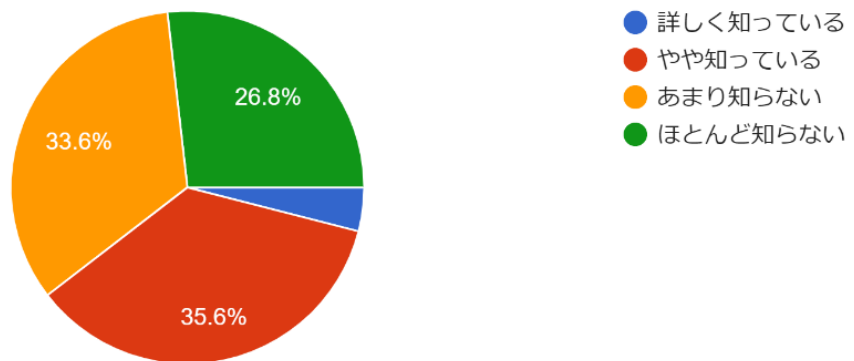
Q5：不妊治療にこれから取り組む可能性がありますか？

675件の回答



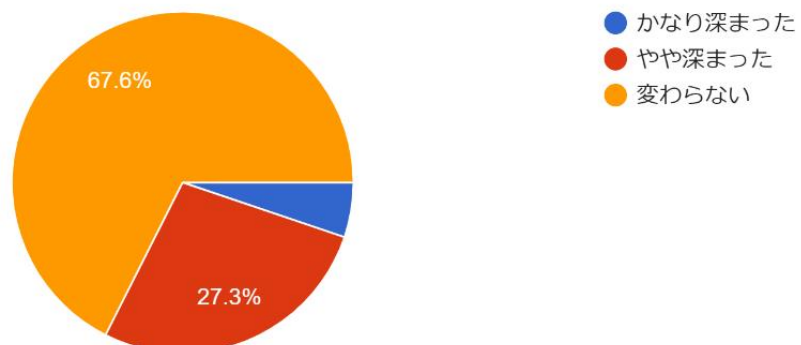
Q6：不妊治療についてどの程度知っていますか？

675件の回答

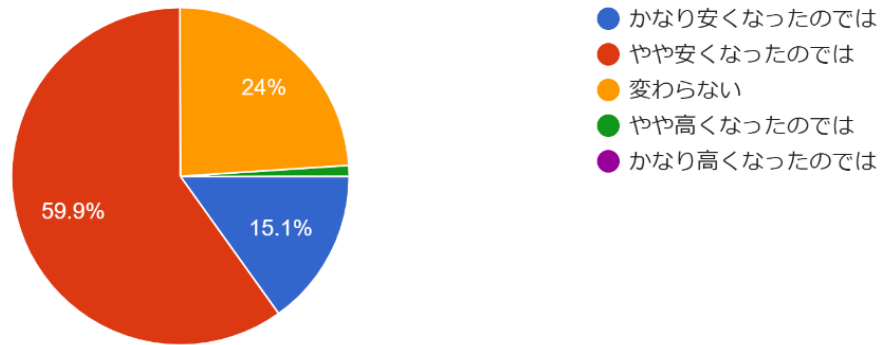


Q7：不妊治療が保険適用になったことで、職場や周囲の不妊治療への理解は深まったと感じますか？

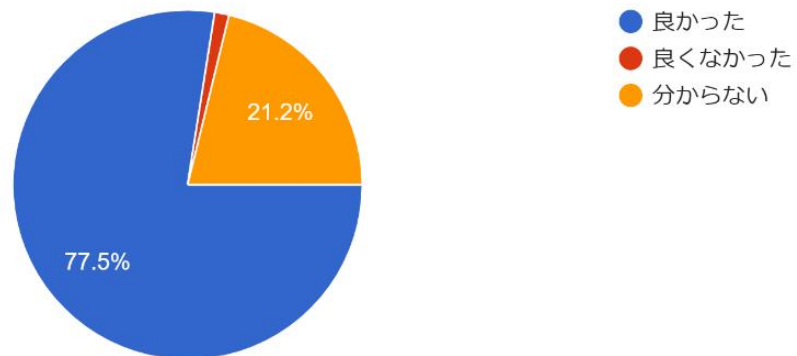
675件の回答



Q8：不妊治療が保険適用になったことで、治療費負担は以前に比べどうなったと感じますか？
675 件の回答



Q9：不妊治療が保険適用になって良かったと感じますか？
675 件の回答



Q10 として自由回答あり

- 仕事と不妊治療の両立が難しい
- 回数制限・年齢制限をなくしてほしい
- 保険適用では使える薬の種類・量が限られている
- 追加で行う検査が高額
- 精神的にしんどい
- 育児休暇のように不妊治療休暇が欲しい
- 市の助成制度が充実していた為、保険適用になって助成制度が無くなり逆に高額になった
- 治療に入る前に自由診療と保険診療の区別がつきにくい
- メディアに取り上げられる機会が増え、不妊治療の話題がフランクになった
- フルタイムでストレスフルに働く時代に 20 代での出産を促進するのは現実として難しい
- また、無痛分娩の促進、産科麻酔医の育成もしてほしい
- 痛みが強いので静脈麻酔を使ってほしい
- フルタイムで働く人が仕事終わりに行ける病院が増えてほしい
- 保険適用となり、金銭的には非常に楽になった
- 保険適用で不妊治療を受けられる人と自費でしか受けられない人がいて不平等さを感じる
- 自治体の助成制度ではなく国の助成制度が欲しい
- 田舎には不妊治療ができる病院が少なく、ステップアップしたくても出来ずにいる
- クリニックの待ち時間がとても苦痛

- 自由診療と保険適用の混合が出来ない為、保険適用時において柔軟性のある治療が出来ない
- 若い内に卵子を保存しておく補助をすべき
- 保険適用になって患者が増えクリニック側がパンクしている
- 家族、職場、社会の理解が足りていない
- 地域格差がある
- 初診時に必要な「同一住所の住民票」が家の事情で用意出来ず高度不妊治療に進めない
- これから取り組んでいこうと考えていく中でどのくらいの費用がかかってどのくらいの費用が保険適用になるのかを具体的に知りたい
- 通院できる環境と急な受診が決まっても対応できる時間のゆとりが必要
- 自己注射などによる体外受精などのステップに踏む前の段階も保険適用にして欲しい
- 保険適用になったことで、不妊治療を開始することへのハードルは下がったと思う。
- 中高生の時に正しい性教育、正しい不妊治療の知識を教える授業項目があった方が良い
- 不妊治療の支援拡充とともに子育ての支援拡充も行ってほしい
- 治療基準をもっと確立してほしい
- 日本は養子縁組や里親へのハードルが高い
- お金の問題よりかは、女性が不妊を意識する年齢をいかに周知するかが問題
- 日本の税金を使った政策なので、外国籍の人は対象外にしていただきたい
- 鍼・灸も保険適用になれば良いと思う
- 一旦現金を払って、後に返金という流れが不安や手間だと感じる
- その前に体質改善から取り組むのも重要な活動だと思う

- 男性不妊も多いのに男性側の知識、自覚が少ない
- 不妊にならないような身体作りを推進する社会を作ってほしい